

出来形管理帳票の定義

- 3次元設計面と出来形評価用データの各ポイントとの離れ(標高較差あるいは水平較差)により出来形の良否判定を行います。
- 出来形管理基準上の管理項目の計算結果と出来形の良否の評価結果、及び設計面と出来形評価用データの各ポイントの離れを評価範囲の平面上にプロットした分布図にて明示します。

作成帳票例(出来形管理図表)

判定の結果規格値を外れると表示(例示です)

- ・ 平均値
- ・ 最大値
- ・ 最小値
- ・ データ数
- ・ 評価面積
- ・ 棄却点数

を表形式で整理

		規格値	判定	測点												
様式-31-2 出来形合否判定総括表 <small>ソフトウェア要求仕様書Ver. 対応</small> 工種 道路土工 測点 No. 1~No. 3 種別 盛土 合否判定結果 異常値有																
天端 標高較差	平均値	-11mm	±50mm	異常値有												
	最大値(差)	42mm	±100mm													
	最小値(差)	-62mm	±100mm	異常値有												
	データ数	1000	1点/m ² 以上 (1000点以上)													
	評価面積	1000m ²														
法面 標高較差	棄却点数	0	0.3%未満 (3点以下)	異常値有												
	平均値	7mm	±80mm													
	最大値(差)	92mm	±140mm													
	最小値(差)	-60mm	±140mm													
	データ数	1700	1点/m ³ 以上 (1700点以上)													
	評価面積	1700m ²														
	棄却点数	0	0.3%未満 (5点以下)													
<table border="1"> <tr> <td>天端のばらつき</td> <td>規格値の±80%以内のデータ数</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規格値の±50%以内のデータ数</td> <td>997</td> </tr> <tr> <td>法面のばらつき</td> <td>規格値の±80%以内のデータ数</td> <td>1700</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規格値の±50%以内のデータ数</td> <td>1360</td> </tr> </table>					天端のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1000		規格値の±50%以内のデータ数	997	法面のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1700		規格値の±50%以内のデータ数	1360
天端のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1000														
	規格値の±50%以内のデータ数	997														
法面のばらつき	規格値の±80%以内のデータ数	1700														
	規格値の±50%以内のデータ数	1360														

・ 離れの計算結果の規格値に対する割合を示すヒートマップとして
-100%~+100%の範囲で結果を色分け。

・ ±50%の前後、±80%の前後が区別できるように別の色で明示。

・ データのポイント毎に結果をプロット。

規格値の50%以内に収まっている計測点の個数、規格値の80%以内に収まっている計測点の個数を明示することが望ましい。